

市民の命と暮らしを守らない菅、自公政権を 衆議院選挙で打倒しよう！ ～対案は民主主義的社會主義～

9月 MDS 集会

民主主義的社會主義運動・Movement for
Democratic Socialism

◆9月26日(日) 10時～12時

◆大津市民文化会館 2階会議室

参加協力費 300円

大津商業高校の山側、歴史博物館の隣です。
大津市役所から徒歩4分ほど



「辺野古新基地建設を止める!遺骨眠る土砂で埋め立てさせない」

沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表の具志堅隆松(ぐしけんたかまつ)さんが8月14～15日、全国戦没者追式が行われる日本武道館周辺や靖国神社前の九段下で、遺族や参拝者に訴えるハンガーストライキを行いました。

- コロナ感染症対策のため、参加をご希望の方は事前にご連絡ください。発熱・咳など体調のすぐれない方はご遠慮ください。
- 当日の検温、手指消毒、マスク着用等感染症対策にご協力ください。

▶基調講演

『衆議院選挙で菅・自公政権を倒そう』

岩崎 晴彦(MDS滋賀)

▶医療講演(予定・調整中)

『コロナワクチンをどう考えるか。』

科学的根拠に基づく積極的施策を(仮題)』

医療問題研究会・医師

▶みなさんからの発言やグループ討議など

★菅首相は総裁選に出馬せず、市民の怒りにより退場させられました。菅はなぜ辞めることになったのか。新型コロナから市民の命と暮らしを守らなかったからです。

★コロナ感染者の11万8千人が治療を受けられず自宅に放置され、そのまま死を迎える人を作り出すという医療崩壊をもたらしたのが菅政権です。感染者のために十分な病床を用意することが政府の責任であったのに有効な手段をとりませんでした。また、無症状の感染者を発見し保護隔離するための、誰もが受けられるPCR検査をしようとはしませんでした。休業を強いられている事業者、個人への補償はなく、わずかな給付も遅く生活を破壊しています。このような状況下で、菅政権はさらにコロナ感染拡大を招くオリンピック、パラリンピックを強行開催しました。この菅政権に対する市民の怒りが菅を辞任に追い込んだのです。

★菅の政策は菅個人によるものではありません。市民の命と暮らしを守るコロナ対策には支出せず、グローバル資本のための軍事費、大規模公共事業費に支出するという軍拡・新自由主義路線は安倍前政権を含む自公政権が一貫して行ってきた政策です。今後総裁選が行われ新首相が生まれることとなりますが、自公政権が続く限り市民の命と暮らしは守れません。

★衆院選で自公政権を完全に打倒しよう。維新などとの連立を許さないまでの敗北に追い込み、市民の命と暮らしを守る政権を作り出しましょう。

オンライン(ZOOM)参加ご希望の方

iwaharu.427@gmail.com

9/25までに上のアドレス宛「9月26日MDS集会ZOOM参加希望」の旨とお名前、電話番号をメール送信してください。開会までに案内メールをお送りします。

主催:MDS(民主主義的社會主義運動)滋賀

連絡先:090-4562-7448(岩崎)

E-MAIL: iwaharu.427@gmail.com